

授業科目(ナンバリング)	介護過程ⅢA(介)(DB410)			担当教員	浦 秀美		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・前期	必修・選択	選択 (介護必修)
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>介護による利用者の生活支援活動に介護過程は不可欠なものであり、介護の専門的知識・技術からなる介護実践の全体像であるといえる。本演習では、適切な介護サービスの提供ができるよう、他の科目で学習した知識や技術を統合して、アセスメントから介護計画を立案していく能力をグループワーク等も取り入れながら養う。</p> <p>本演習は、本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を習得する学習とする。本演習を受講することで、本学のディプロマポリシーでも示されている(介護福祉士としての)専門知識・技術を修得し、課題解決を図ることができるようになることもねらいとしたい。</p>							①④⑤⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントからニーズの把握事項を説明できる。 ・ニーズを満たす方策を説明できる。 ・根拠に基づいた介護計画について説明できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート ・発表 	50% 10%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を主体とした利用者のための介護計画を類別できる。 ・利用者の課題を指摘できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・発表 	15%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者主体の生活がより良くなるための介護支援について討議ができる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換 	10%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・包括的で具体的な介護目標、計画に寄与できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート 	15%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート：内容(65%) ・発表：演習への取り組み姿勢、発言内容(25%) ・意見交換：他者の意見を聴き、自分の意見を述べる(適切性や正確性)(10%)等を踏まえ総合的に評価する。また、課題レポートは提出後に授業内でフィードバックする。 ・課題レポートは演習事例を分析・統合し、介護計画を立案した内容(アセスメント能力・思考過程の手続きを踏んでいるか・判断根拠の提示・知識の統合・表出された言語・語彙力・専門用語の使用の適正さ)で評価する。 							
授業の概要							
<p>介護実習Ⅲおよび介護総合演習Ⅲと関連付けながら、介護過程を展開していく上で必要な情報収集やその分析(アセスメント)、課題や目標設定、計画作成等について学ぶ。介護過程に沿った具体的な学びとなるため、毎時においての資料作成など、事前学習・事前準備が必要となるグループワークによるディスカッションも取り入れながら作成を工夫していく。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：介護福祉士養成講座編集委員会(2019)最新介護福祉士養成講座9『介護過程』中央法規出版株式会社 指定図書：介護福祉士養成講座編集委員会(2019)最新介護福祉士養成講座9『介護過程』中央法規出版株式会社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>利用者が主体であることを常に意識して取り組んでほしいです。そのため、今まで学習した知識・技術等を駆使するためにも、他の科目の復習をしてください。</p> <p>また、演習を円滑に実践するためには、計画的な準備が重要となります。介護実習との関連もありますので、必要な記録や自分の考えを整理して授業には臨んでください。何事にも意欲的に取り組むことを期待します。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	介護過程の展開	介護過程の展開について学ぶ演習とする。 介護過程における説明と同意の必要性について高齢者の事例から理解する。	予習：介護過程展開調べ 復習：介護過程における基礎知識の整理
2	アセスメント① 介護過程とチームアプローチ①	事例の情報から、気になる情報を抽出し、その他に必要と考える情報も抽出しながら情報確認を行う。	予習：分析に必要な知識検討 復習：情報を再確認
3	アセスメント②	アセスメントシート(介護実習Ⅲで使用するシートや既存のアセスメントツール他)について理解し、情報整理を行う。	予習：気になる情報を整理 復習：アセスメントを整理
4	アセスメント③	情報を分析・判断し、根拠を明確にしなが課題を抽出する。	予習：情報の分析と判断 復習：課題と根拠の整合性の整理
5	アセスメント④ 介護過程とチームアプローチ②	課題とその根拠について意見交換しながら検討する。	予習：課題の優先順位検討 復習：課題整理
6	介護計画①	課題の優先順位について学び、生活上の課題について優先順位を検討していく。	予習：課題の優先順位検討 復習：課題整理
7	介護計画②	各課題の達成目標を明確にしなが長期目標・短期目標を設定する。	予習：目標の具体性確認、 計画案見当 復習：計画案再確認
8	介護計画③ 介護過程とチームアプローチ③	目標達成のための支援方法を考え、介護計画を作成する。計画に基づいて実施可能かどうかも検討する。	予習：介護計画書作成 復習：支援方法案見直し
9	介護計画④ 介護過程とチームアプローチ④	介護職員や協働する他の専門職のケアとの関係性を理解したうえで、共有できるような介護計画の書き方を検討し、介護計画書を作成する。	予習：介護計画書作成 復習：介護計画書整理
10	介護過程の展開の理解①	介護計画を実施するために必要なことについて、介護者側、利用者側の両方から考えていく。また、実施記録の必要性を理解する。	予習：評価視点の検討 復習：記録の意義の整理
11	介護過程の展開の理解②	個々の事例の実際の経過をもとに、どのような視点で評価を行うのかについて考え、評価を行う。	予習：評価後の流れ(過程)の検討 復習：評価の整理
12	介護過程の展開の理解③	評価に基づいて、介護計画の修正や、新たな介護計画の作成について検討する。スーパービジョンについても学ぶ。	予習：計画の評価実施 復習：修正箇所の整理、実習記録等の整理
13	実習事例検討 介護過程の展開の理解④～	介護実習Ⅲにおける利用者のアセスメントを行う。アセスメントを行いながら、不足した情報を補い、根拠に基づきなが課題を抽出する。 以上の事柄を発表し、検討を行う。	予習：利用者のアセスメント事項の整理 復習：情報を補足した上で、分析し、課題を考える。
14	⑥ (アセスメント)		課題・その根拠を整理する。
15			介護計画書を作成する。